

あきる野市中央公民館便り

vol. **3**
2022.5



青少年教室「科学教室」
果物の科学



縁

地縁、血縁、ゆかり。
人間関係が薄まりつつある現代社会。
だからこそ、公民館での講座や団体活動
を通して、人と人が顔と顔を合わせて交
流し、そこでみなさんの縁が生まれる場
を、みなさんと共に作っていききたいです。

円

公民館ではたくさんの人々が学び合い、
カラフルな「サークル(円)」を描いてい
ます。その一つひとつにそれぞれの雰
囲気や特徴があり、みなさんの笑顔があり
ます。これからも公民館がみなさんの
「円」で溢れますように。

en-

encourage[勇氣つけな]や enjoy[楽し
む]など名詞や形容詞の頭について、動詞
を作る役割の接頭辞「en-」
公民館もみなさんにとって、何かを始め
る、動き出すきっかけとなるような存在に
なれば嬉しいです。

～表紙の写真紹介～

青少年教室「科学教室」果物の科学～果実
の仕組みを調べる～で果実の構造などにつ
いて学びました。写真は、参加した親子が
一緒に実際の果実を使って構造を観察して
いる場面です。親子で様々な果実を分解し、
協力して学習しています。みんな一生懸命、
果実を観察して、楽しく学んだ一日でした。



もくじ

01 「en」にこめた3つの思い / 表紙の写真紹介

02 もくじ / 館長より

03 公民館でどんなところ？

04 まなぶ

- ・ 青少年教室
- ・ 寿大学
- ・ 市民カレッジ入門講座
- ・ 市民解説員活動推進事業
- ・ 家庭教育事業
- ・ 市民企画講座
- ・ スマホ体験事業
- ・ IT ボランティア事業

12 つどい

- ・ 施設紹介
- ・ ミニ展示コーナー

14 むすぶ

- ・ ネットワークづくり

15 アクセス / 編集後記

館長より

日頃から、多くの方に公民館をご利用いただき、ありがとうございます。

さて、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により公民館は、一部期間において時間を短縮しての開館となりました。感染症拡大防止のため、一部事業は中止や規模を縮小しての開催となりました。「en」第3号では、このようなかで実施した事業を紹介しています。

令和4年度も感染対策を行いながら各種事業を実施して参りますので、みなさんのご参加をお待ちしております。

生涯学習の主役は市民のみなさん一人ひとりです。「en」がみなさんの学習に役立つことができれば幸いです。

館長 沖倉 英基



公民館で どんなところ？

「人びと」

「地域びと」の場

公民館がどのような役割があるか3つのキーワード《まなぶ》《つどい》《むすぶ》に沿って紹介します。

《まなぶ》

公民館は、「住民の方の興味関心」や「地域で困っている事」などについて学ぶ場です。「合唱を始めたい」「絵を描きたい」など、「〜したい」と思うことがあったら公民館へ相談してみてください。公民館では色々な講座や多くのサークルが活動しています。今年度、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が大きく変化しました。公民館も臨時休館をし、施設の利用や事業が出来ない期間もありました。その中で公民館が出来ることを考え、在宅学習として、市民解説員の方の協力を得てあきる野歴史クイズを作成しました。また、感染拡大の防止を徹底しながら他の講座やリモートによる講座などを開催しました。

《つどい》

公民館は「日常の中で気軽に集まること」ができる場です。みなさんの「ちよつと集まりたい」「みんなで練習したい」のために、大小様々な会議室、ステージのある大部屋、台所がある部屋など色々な部屋があります。

一階のロビーでは今年度からミニ展示コーナーを設置しています。家族で作ることが出来る簡単な工作を展示し、紹介していますので「ふらつと公民館へ寄ってみる。」などお気軽にご利用ください。

《むすぶ》

公民館は「地域の様々な機関や団体のネットワーク」を作ります。あきる野市には数え切れないほど多くの機関や団体があります。それぞれの団体が活動を独自に行っています。公民館が結び目となることで、色々な団体が繋がり、これまでになく新しい活動が生まれる。そんな可能性を信じながら、これからも結び目を作っていきます。



未知の世界が
僕らを待っている

青少年
教室

まなぶ

講座・事業紹介

青少年の知的好奇心・学習意欲の向上と、豊かな成長を図るために開催する講座です。

科学教室「果物の科学」果実の仕組みを調べる」は、小学生と保護者を対象に、南秋留小学校主任教諭の遠藤康弘さんを講師に実際の果物を観察したり、分解したりすることで複雑に見える果実はシンプルな仕組みでできていることを学びました。はじめに講師から全員に小さな花を一輪配付し、その花を一人ひとりが外側から分解し、「がく↓花びら↓雄しべ↓雌しべ」の順で構成していること。次に、「種↓花↓実↓果実」へと成長していくことを学びました。次に、果実の「サヤエンドウ、キウイフルーツ、イチゴ、バナナ」の順に分解し、それぞれの雌しべの数と果実の部屋の数が同じであることを、実験を交えて学びました。

教室を終えて、コロナ禍の影響で2年ぶりの教室となりましたが、教室に参加した子どもさんの瞳がキラキラ輝いていたのが印象的でした。これからも学校とはちょっと違う体験や学びを用意して、皆さんの参加をお待ちしています。



寿大学 楽しく学んで豊かに生きる

思いを未来へつなぐ

寿大学で学んでみませんか

寿大学々長 宮崎慶一

社会の変化と高齢者

私達高齢者は、戦後の混乱と貧困からの脱出、国の復興と経済的な豊かさを求めて、無我夢中に働いてきました。高度経済成長とともに人々は豊かな暮らしが出来るようになり、ゆとりが出来て、スポーツに親しみ、文化的な活動をするようになりました。

日本の発展とともに、グローバル化や情報化、少子高齢化など、絶えず急激な変



化の中で私達は暮らしてきました。さらに、現在、これまで経験したことのないことが次から次へと起きています。

この急激な社会の流れに対して、私達高齢者は高度化、複雑化する様々な問題への対応をしたり、これからも生き抜くための力をつけたりしていかなければなりません。

このような先の見えない暮らしの中を生き抜くためには、変化に対応した学びによって生きていく力と、世の中が変わっても軸のぶれない学ぶ力が、どんな時代になっても必要です。(不易流行)また、歴史を学ぶことによつて、これからのように生きていくか(温故知新)を学ぶことも大切です。

寿大学とは

人生百年時代の今、あきる野市寿大学は、このような変化の激しい時代に生きる高齢者のために、生涯にわたつて受講生が豊かで楽しい学びができるようにお手伝いをさせていただきます。

寿大学は：今年で49年目を迎えました。60歳以上の市民なら誰でも参加でき、しかも無料で受講することができます。

内容：文学、歴史、科学、芸術、健康、一般教養等、様々な分野を取り上げると

ともに、地域に根ざした内容や身近な講師を招き、社会の変化に対応した学びを進めます。

目的：高齢者が講座に参加して、学ぶ意欲や知識の向上を図るとともに、それを地域社会で役立て、受講生同士の交流をすることを目的としています。

学ぶ場所：秋川校は「キララホール」。五日市校は「まほろばホール」の二つの会場で実施しています。どちらの会場も内容は同じですので、学びやすい会場をお選びください。

学び方：講座の多くは、座席に座つて映像を見ながら講師の話を聴く講義講座が中心です。他に芸術家による記念公演や国立劇場の歌舞伎鑑賞、バスによる社会見学、映画鑑賞、閉講式での学習発表会などの行事講座があります。

学ぶ期間：令和4年度は5月から12月まで18回の講座を用意しています。

今年度の受講生：秋川校は秋川キララホールに590名が集い、五日市校では五日市地域交流センターまほろばホールに109名が集い、意欲的に学んでいます。

受講生の募集：毎年、2月に募集をいたしますので、多くの皆様の入学をお待ちしています。

あなたの、
知らないあきる野が
ここに！

市民カレッジ 入門講座

市民カレッジ入門講座は、あきる野市の誕生後、平成8年度から地域の歴史、文化、自然についての解説を行う市民解説員を養成するために開始しました。市民解説員は入門講座を受講し、12単位と解説実習を修了した人に対し教育委員会が認定しているものです。隔年で6講座を開講し、座学や現地学習を行っています。



自然史Ⅰ・第3回「丘陵と五日市盆地をめぐって」

これは今年度の「自然史Ⅰ」の現地学習での弁天山頂上からあきる野市の地形について学習している様子です。講師の青谷知己先生には講義を4回していただき、座学と現地学習を行いました。座学ではあきる野市の地形・地質について学び、現地学習では実際に戸倉・荷田子・養沢方面、増戸・五日市方面、秋留方面の3つの地域について、実際に歩きながら学びました。実際の地形や地質、石などを観察しながらの解説に受講生の皆さんは引き込まれていました。

今年度は「自然史Ⅰ」「人物伝Ⅰ」「考古学Ⅰ」「地域めぐりⅠ」「中世史」「伝統産業」の6講座を開講しました。延期した講座もありましたが、各講座とも予定通り実施できました。各講座、受講生は約10名でした。どの講座も皆さん熱心に、あきる野に住んでいても、知らなかったことや場所、歴史などを学んでいます。

令和4年度は「自然史Ⅱ」「人物伝Ⅱ」「考古学Ⅱ」「地域めぐりⅡ」「近世史」「民俗芸能・交通史」の6科目を開講する予定です。興味のある講座を受講して、あなたの知らないあきる野を発見してみませんか？



人物伝Ⅰ・第2回「田中丘隅について」



地域めぐりⅠ・第4回「神明社での見学」



「市民解説員」は
ふるさとあきる野づくりの案内人

市民解説員活動推進事業

「第20回市民解説員発表会」が新型コロナウイルス感染症の拡大により、特別講演、口頭発表が中止となりましたが、2月17日～20日に、中央公民館市民ギャラリーで展示発表のみ開催されました。

展示内容は、令和2・3年度に実施した「市内探訪」計14コースを参加者と共に訪れた市内の名所・旧跡、自然、生活の営みの痕跡を模造紙一枚にまとめた報告書を展開しました。来観者が写真や説明書きを見ながら熱心に質問し、感心していた様子が印象的でした。また、市民解説員がグループを組織し、自主的に学習している「歴史勉強会」「民話の会」「藍染めの会」も作品を展示し、活動を振り返っていました。さらに、今年度も市民解説員が自ら関心のある分野やテーマを定めて調査・研究した成果が発表されました。今回は、「天然理心流と戸田角内」と「市内に残るフセギを訪ねて」の2例が発表され、関心を集めていました。

そのほか、「心惹かれるあきる野の自然と文化」と題して、晩秋の広徳寺、秋留台地の空と雲、戸倉城山より五日市盆地を望む、など市民解説員がお勧めする場所の写真にコメントを添えた作品も展示さ

れ、「こんなところもあるんだ」などの声が聞かれました。さらに、今年は、小峰ビジターセンターとのコラボ事業として実施した「市内チヨウの生息調査報告」として、あきる野で見ることできるチヨウの写真を展示しました。



市民解説員は、平成7年から開始した市民カレッジ「入門講座」で人物伝、考古学、自然史などの科目を受講し、12単位と解説実習を修了した人を「市民解説員」として教育委員会が認定しています。60代から90代の方々69名が登録し、五日市郷土館や二宮考古館等での展示解説のほか、「市民解説員が案内する市内探訪」、市内外からの依頼による市内文化財等の解説案内で活躍されています。

「学んだことを地域に生かす」「あきる野の素晴らしさを多くの人たちに知ってもらいたい」との思いを胸に、生涯学習を実践し、生き生きと活動しています。

コロナ禍で活動が制限される中でも、「あきる野歴史クイズ」を作成するなど、地域の歴史を紐解く活動を行っています。

おうちで学ぶにも
子育ては
子どもも同級生！！

家庭教育事業 (家庭教育学級・ 家庭教育講座)

みなさん、こんにちは！新型コロナウイルス感染症の流行により新しい生活様式で過ごすようになり、2年が経ちました。不便ながらもこの生活にも少し慣れてきました。子育て中の親同士でコミュニケーションを図る機会が減り、子育てへの不安や悩みが膨らんでしまう方も多いのではないのでしょうか。

公民館では、そのような皆さんの子育てへの不安や悩みを解消して、より良い親子関係を築いていただくために、お子様の健やかな成長と親自身の成長を目指した家庭教育事業を実施しています。

まず、子どもの発達段階に応じた問題テーマにした今年度の「家庭教育学級」では、昨年度に引き続き、子育てでとても難しい時期と言われる「イヤイヤ期」のお

子さんとの向き合い方に焦点をあてた講座を行いました。遠藤隆一先生の「初めての子育て」では、多くの親御さんの関心が高い、子どもの「ほめ方・しかり方」を始めとした子どもとの向き合い方を学び、親子がともに学び成長することの大切さへの理解を深めました。特に、遠藤先生の「私たち大人は子どもが生まれて初めて親になる。だから、できなくてもいい、悩んでもいい、ゆっくり親としての道を歩んでいきましょう。」という言葉が印象的でした。

そして、堀部三智子先生の「気持ち少し楽になるアンガーマネジメント講座」では、グループワークや怒らない体操等の体験型のワークショップを通して、自分の感情を客観視してコントロールする方法など、この時期を上手に乗り越えるためのコツを学び合いました。

さらに、親子の絆を深めていただくための「家庭教育講座」では、自然観察・「はらぺこあむし」を作り絵本の世界の体験・松ぼっくりのミニツリーとリース作りをしました。お子さんの成長を肌で感じ、親子で楽しく参加していただきました。



これからも様々な講座を企画します。子育てに迷った時・挫折そうになった時・同じ悩みを持つ人と話しがしたい、そして親子で楽しく体験をしたいと思った時には、ぜひ、講座にご参加ください。そして、気持ちを少し楽にして、お子さんと過ごす時間を楽しんでいただければ嬉しく思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。コロナに負けず、みんなと一緒にガンバンエー！



あなたが創る
みんなの公民館

市民企画 講座

「市民企画講座」に
企画提案してみませんか？

「活動する中で疑問が出て、それについて学ばなければ、そのための学習をしたい、こんな社会問題がなぜ起こっているのか、その歴史・経過を学んで、解決に向けて考えてみたい、この先生の講演を聴いて、みんなと意見交換したい、手に技術を持ちたいんだけれど、教えてもらえるところがないんだ」など、疑問や要望があったら、この市民企画講座として、企画提案してみませんか？

この市民企画講座は、市民と公民館で創る新しい学びの機会を目指して平成18年から開設している事業で、「あきる野学びプラン3」の学びを創るVIの重点事業「市民団体等との協働による事業の実施」等に基づき実施しているもので、市内学習

グループ及び市民が自主的に企画・運営し、公民館と協働して多様な学習機会を市民に広く提供する事業です。

令和4年度は、4月1日から5月9日までの間に、所定の申請書に必要事項を記入し、中央公民館へ提出してください。提案内容は、環境問題を考えるもの、人権尊重に関するもの、「近所の底力」につながるようなもの、暮らしに役立つもの、地域の子育て支援につながるものなど、様々な地域課題・社会問題について、皆さんが主体となって公民館で学習の場づくりをしていただくものです。

昨年度は、募集数は概ね7事業のなか、9グループ1個人から13の事業提案応募があり、ヒアリングの中で企画提案の内容や懸ける思いなどを伺い、社会教育委員の会議の意見を伺い、予算の範囲内とし、すべての提案を採択し、実施しました。

令和4年度の企画講座の募集数は、予算の範囲内でおおむね7企画提案までとします。

原則として1団体4万円（採択数が多い場合、減額あり）を限度とする講師謝礼金、会場の提供、市広報・市HP等への記事掲載、参加者申込みの電話受付等を公民館が担います。講座運営は、団体が主

体になって講師依頼・調整や講座進行等を担当していただきます。

令和3年度に市民企画講座として実施された講座を3つご紹介します。各講座とも楽しい講師のトークに良い時間を過ごすことができました。



令和3年度に実施された市民企画講座から3つをピックアップ

実際に
スマートフォンを使って

スマホ体験 事業

スマホ体験教室は今年度初めて実施しました。インターネット検索の方法などを中心にスマホの基本的な使い方を学ぶ講座でした。

8月に「初心者向けスマホ体験教室」で、講師の東京一丁スマホ研究会の佐藤弥子さんから実際にスマホを使いながら、2回の講座に分けて学習しました。ご自身のスマホをお持ちの方はご自身のスマホを、お持ちでない方は貸し出し用のスマホを使用して講座を実施しました。

参加者の皆さんは、お使いのスマホを使いながら、真剣に講座を受けていました。皆さまからは良かった、楽しかったという声が多く、さらにまだまだ勉強したいという声や次のレベルでの開催して欲しいなどというご意見が寄せられました。

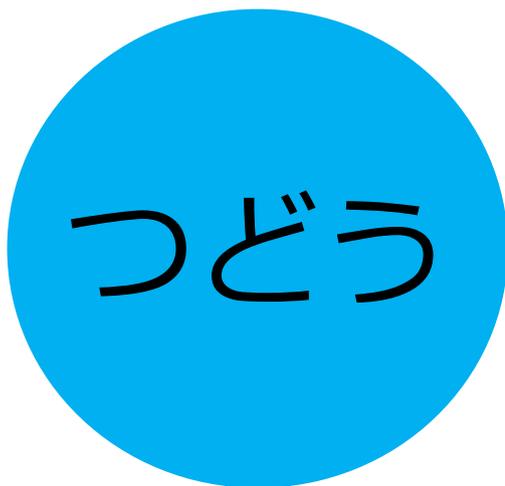


パソコンで
日常をちょっと豊かに

ITボランティア 事業

今年度は6月から3月まで月2回「パソコン&A講習」を実施しました。受講者の質問にITボランティアがマンツーマンでお答えするもので、延べ44人の方に受講していただきました。





施設紹介



「つたい」「やりたい」

ができる場

公民館は住民のための社会教育施設です。みなさんの「つたい」「やりたい」を実現するための場所として、大小様々な研修室、ステージのある集会室、防音の音楽室、料理ができる実習室、畳敷きの和室などがあります。活動をするためには物理的な場が

必要です。市内には公民館の他にも多くの場がありますので、自分たちにあった活動の場を探してみてください。

1階のロビーには、市民活動をする上で意外と重要な、大量印刷に便利な印刷機と少部数向けでカラーコピーができるコピー機も設置しています。また、サークル活動の展示発表のための市民ギャラリーがあります。和やかな雰囲気のリフレックスです。美術館はちよつと敷居が高いと感じてしまう方も、気軽に「ご来場ください。作品を作った本人から制作秘話などが聞けるかもしれません。また、ロビーでは様々なサークル活動やイベントのチラシ・ポスターを置いてあります。インターネットの検索では出てこない、地域に密着した情報も集まっていますので、見にいらしてください。今年度からはミニ展示コーナーを設置しています。誰でも簡単に楽しく工作できる様な作品を展示をしています。

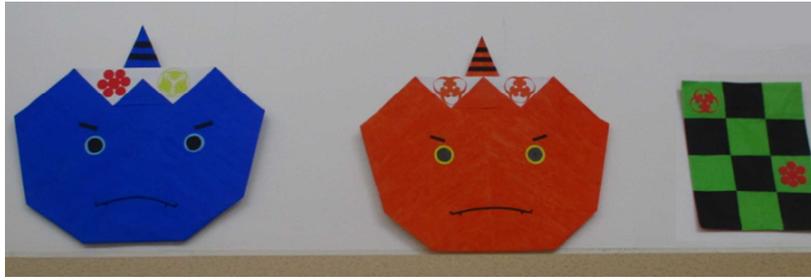
○施設詳細、利用方法については

施設予約窓口 (042-559-1163)

休館日 第1・3・5火曜日

巻末掲載のHPもご覧ください！





みんなで
作ってみよう！！



ミニ展示 コーナー

ミニ展示は、お孫さんやお子さん達と一緒に作り、楽しく遊べるものを基本に、作り方、手作りの展示品や創作童話「ちびっ子鬼物語」を紹介しています。

令和3年度の展示では、伝承折り紙を取り上げました。

「兜(カブト)」を5月から展示。私が小学生の頃、父親に新聞紙で作ってもらった「兜」を、私の子どもにも作ってあげた思い出があります。ぜひ、折ってみてください。

「セミ」を7月から展示。夏を代表する昆虫のセミを取り上げました。比較的簡単に折れて出来上がりも綺麗です。

「うさぎの顔」を9月から展示。令和3年度の中では、作り方の持ち帰りが200件。作品の応募が80件と一番の人気です。是非うさぎの顔を折ってみてください。

「福助(ふくすけ)人形」を12月から展示。幸福を招くとされる縁起の良い福助人形を取り上げました。また、展示期間中に皆さんがお持ちになった作品も展示しています。

次に、ちびっ子の鬼が主人公の「ちびっ子鬼物語」を紹介します。

第3話「サダちゃん転校の巻」は、転校する寂しさと不安を吹き飛ばし、勇気をもつて乗り越えていくお話です。

第4話「夏休みの思い出の巻」は、セミ取りなど夏休みを楽しむ一方、読書感想文を書くために不思議な物語に出会うお話です。

第5話「竹馬遊びとお月見の巻」は、竹の子掘り名人のお爺ちゃんから竹馬遊びを、お母さんからは十五夜・お月見について教えてもらおうお話です。

第6話「新年明けましておめでとうの巻」は、大掃除など正月の準備とちびっ子の鬼達が初詣に行くお話です。

このミニ展示は公民館1階ロビーで行っています。展示内容は3か月程度で変更しています。また、今までに紹介しました作り方と物語は、あきる野市のHPでも公開していますので、「ご利用下さい」。



「うさぎの顔」応募作品

むすぶ

ネットワーク作り

地域の「結び目」 としての公民館

公民館は地域のさまざまな機関や団体をつなげることで、地域のネットワークを作ります。

地域には、多くの団体やグループなど

が様々な活動を行っています。また、公民館でも多くの団体が活動を行っています。その個々の活動を繋げていくことにより、新しい活動が生まれることを目指して、ネットワークづくりを行うことが公民館の大切な役割のひとつになります。

公民館では、公民館定期利用団体や市内で文化活動をしている団体の連盟である「文化団体連盟」等の連絡調整、事業相談、支援等を行うことで、グループの育成やネットワークづくりを行っています。

学習相談事業では、個人や団体からの「こんなことできる人いない?」「こんなことしたいんだけど、一緒にできそうな団体ある?」というような相談に対して団体や個人の紹介を行っています。公民館には地域に密着した情報が集まりますのでお気軽にお問い合わせください。

公民館を定期的に利用している団体をまとめた「中央公民館利用団体案内」や「サークルガイド」を作成し、配付しています。興味のある方はお気軽に窓口におたずねください。ロビーに閲覧用もあります。

施設予約は左の窓口へ

学習相談は右の窓口へ



いろいろと情報発信中！

それぞれのコードを読み取り、ご利用ください

まずはこれ！

公式ホームページ

あきる野市 公民館

で検索



毎月の公民館講座募集情報ならおまかせ！

月刊「のらぼう」



あきる野市全体の情報も知りたい！

あきる野市公式 **Twitter「るのびと」**



一斉配信メールサービス



編集後記

▼公民館をより多くの方に身近に感じてもらうための思いから、公民館便り「en」3号を発行いたしました。公民館からの発行物といえばもうひとつ、「月刊のらぼう」があります。▼2つの発行物ですが実は内容のすみ分けがあります。「月刊のらぼう」は講座募集がメインになります。一方「en」は実施した講座がどういった内容であったかを参加していない人にも伝わるように作成しています。「月刊のらぼう」「en」どちらもどうすれば皆さんに楽しんで読んでもらえるか、わかりやすく伝わるかを考えながら作成しています。▼少しでも公民館に興味を持ち、参加してみたい事業やサークルがあれば、お気軽に公民館におたずねください。今後とも公民館をよろしく願っています。

アクセス

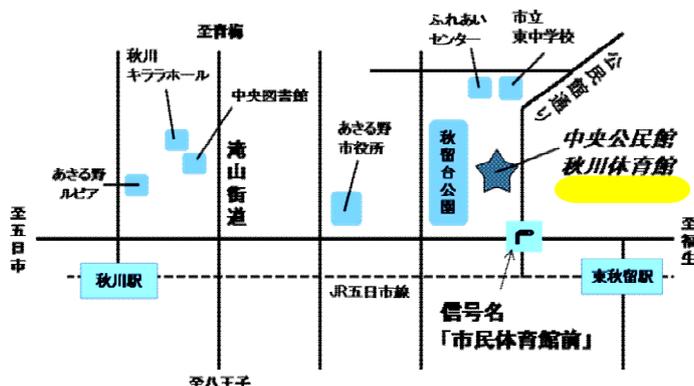
あきる野市中央公民館

〒197-0814 あきる野市二宮 683

学習・講座情報窓口 042-559-1221

施設予約窓口 042-559-1163

F A X 042-559-1227



○発行○

いつでも学びのすぐそばに

あきる野市
中央公民館